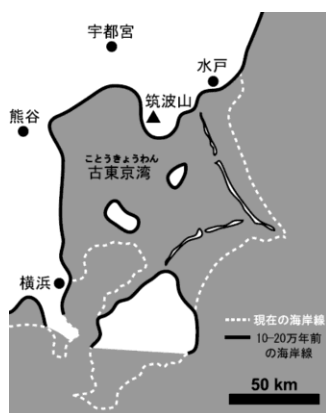


霞ヶ浦にナウマンゾウがいた頃

ーゾウ類の歴史を探るー



約 13 万年前の霞ヶ浦

(増田、1992 を改変)



約 2 万年前の霞ヶ浦

霞ヶ浦はどのように変化してきたのでしょうか？

この数十万年の間、地球は氷期と間氷期で気候の寒暖差も大きく、霞ヶ浦は海だったり、陸地だったり大きく変化していました。約2万年前の最終氷期の頃は、海面が現在よりも約 120m も低い時代がありました。

そして、第四紀更新世の霞ヶ浦付近には、ナウマンゾウやニホンアシカ、バイソン、シカ類などが生息していたことが産出した化石から分かっています。

今回の講座では、氷河期の頃の霞ヶ浦に焦点をあて、当時生息していたナウマンゾウ、大型哺乳類やその頃の環境について学習します。

日時：令和7年11月2日（日）13:30～15:30

場所：霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール

講師：国府田良樹さん（ミュージアムパーク茨城県自然博物館名誉学芸員）

受講料：無料 定員：40名(要事前申込み、先着順)

送迎バス：土浦駅東口 13:00 発（要申込）

申込方法：以下のいずれかの方法でお申し込みください。

申込方法：①右の QR コードまたは下記の URL から申込み

URL:https://apply.e-tumo.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=76293

②E-mail ③FAX ④電話

メール、FAX の場合は件名に「霞ヶ浦学講座」と明記の上、氏名、住所、電話番号、送迎バス利用の有無をお知らせください。

(個人情報センターのイベントに係る事務連絡以外に使用しません。)

申込先：茨城県霞ヶ浦環境科学センター（〒300-0023 土浦市沖宿町 1853 番地）

環境活動推進課 担当：小川

TEL:029-828-0962 FAX:029-828-0967 メール：tat.ogawa@pref.ibaraki.lg.jp

